

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

別添様式2

公表日:2022年3月23日

事業所名:重症心身障がい児放課後等デイサービスGOGO

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	確保できている。	はい:14人 どちらともいえない:0人 いいえ:0人 わからない:2人	
	2 職員の適切な配置	マンツーマン以上で支援員を配置している。	はい:16人 どちらともいえない:0人 いいえ:0人 わからない:0人	
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	問題なし。	はい:13人 どちらともいえない:0人 いいえ:0人 わからない:3人	
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	問題なし。	はい:14人 どちらともいえない:0人 いいえ:0人 わからない:2人	
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	週に1回のミーティングを通して実施している。		
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	アンケートを実施している。		
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	サービス実施前後にミーティングと振り返りを実施している。		
適切な支援の	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	サービス実施ごとにケース記録の記入・共有・課題の洗い出し・半期に一回のモニタリングを随時行なっている。	はい:16人 どちらともいえない:0人 いいえ:0人 わからない:0人	
	2 子ども状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	半期に一回のモニタリング・保護者面談を通して子どもと家族のニーズに沿った支援計画を立案している。	はい:16人 どちらともいえない:0人 いいえ:0人 わからない:0人	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
提供	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	支援計画の実現に向けて子ども一人ひとりの身体作りメニューや取り組みを設定し、個別にタイムスケジュールを作成している。	はい:16人 どちらともいえない:0人 いいえ:0人 わからない:0人	
適切な支援の提供(続き)	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	サービス提供時は毎回支援員が支援目標を立て、実施できたかどうかの振り返りも行なっている。	神戸市指定のアンケート用紙に項目が挙がっていないため集計不可。	
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	毎週ミーティングを行ない、活動プログラムの検討を実施している。	神戸市指定のアンケート用紙に項目が挙がっていないため集計不可。	
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	休日・長期休暇のみのサービスを提供している。	神戸市指定のアンケート用紙に項目が挙がっていないため集計不可。	
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	施設が広く、そのスペースを活用してさまざまな活動プログラムを実施できている。	はい:15人 どちらともいえない:1人 いいえ:0人 わからない:0人	
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	毎回ミーティングで計画を立てている。		
	9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	毎回実施している。		

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	サービスごとに子ども一人ひとりのケース記録を作成し、社内SNSを使用して情報を共有している。	
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	モニタリングは半期に一回実施しており、また保護者からの要望に応じてその都度検討、見直しを実施している。	
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	電話等で適宜参加している。	
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	令和3年度においても学校見学を行ない、学校での取り組みと統一性のある支援を検討した。	
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	3～6カ月に一回、書面等で実施している。	
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	書面で実施している。	
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供	書面、見学等で実施している。	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	特になし。	
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	—	はい:1人 どちらともいえない:5人 いいえ:6人 わからない:4人
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	特になし。	神戸市指定のアンケート用紙に項目が挙がっていないため集計不可。
保護者への説明責	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	契約時に実施している。	はい:16人 どちらともいえない:0人 いいえ:0人 わからない:0人
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	面談時に実施している。	はい:16人 どちらともいえない:0人 いいえ:0人 わからない:0人
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	ペアレントトレーニングは実施していないが、福祉サービスの利用等について相談があった際は適宜対応している。	はい:8人 どちらともいえない:4人 いいえ:0人 わからない:4人
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	送迎時の口頭でのやりとりや、連絡帳を通して共通理解を図っている。	はい:15人 どちらともいえない:1人 いいえ:0人 わからない:0人
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	相談に対しては傾聴し、助言できる範囲で助言・提案を行なっている。	はい:16人 どちらともいえない:0人 いいえ:0人 わからない:0人

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
連携支援	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	適宜開催している。	はい:9人 どちらともいえない:6人 いいえ:0人 わからない:1人	
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	適宜対応している。	はい:15人 どちらともいえない:0人 いいえ:0人 わからない:1人	
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	コミュニケーションに関しては、学校見学や保護者の聞き取りを経て子ども一人ひとり個別に検討している。	はい:15人 どちらともいえない:1人 いいえ:0人 わからない:0人	
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	・年に一回機関紙を発行 ・毎回当日スケジュールを配布	はい:16人 どちらともいえない:0人 いいえ:0人 わからない:0人	
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	厳重に取り扱っているが、漏洩があった場合には都度改善を行なっている。	はい:14人 どちらともいえない:0人 いいえ:0人 わからない:2人	
非常時等	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	実施している。	はい:12人 どちらともいえない:1人 いいえ:0人 わからない:1人	
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	半期に一回実施している。	はい:8人 どちらともいえない:1人 いいえ:0人 わからない:5人	
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	毎回、サービス提供前後にスタッフでミーティングを行ない、不快のない支援について話し合っている。また支援中にもアナウンスをかけ、不快がないかを確認している。		

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
子の 対応	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	身体拘束は行なっていない。	
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	お弁当等の食べ物の提供は行なっていない。	
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハットに関しては報告書を作成し、スタッフ全体で共有している。	